

(お知らせ)

平成28年2月24日

行政局
〔 財政部経営改革課 〕
電話：222-3293
同 財政課
電話：222-3291

総合企画局
〔 市長公室政策企画・調査担当 〕
電話：222-3035

「はばたけ未来へ！ 京プラン」後期実施計画（骨子）に対する
市民意見募集でいただいた御意見の概要と本市の考え方及び
後期実施計画（案）について

京都市では、「はばたけ未来へ！ 京プラン（京都市基本計画）」に掲げた京都の未来像の実現に向け、平成28年度から32年度までの計画後半期に重点的に推進する施策等を示した「はばたけ未来へ！ 京プラン」後期実施計画の策定に取り組んでいます。

この度、骨子に対する市民意見募集でいただいた御意見の概要と本市の考え方を取りまとめるとともに、これらの御意見を踏まえ、別紙のとおり、京プラン後期実施計画（案）を作成しましたのでお知らせします。

今後、平成28年2月市会における議論を踏まえて、3月末に計画を策定・公表する予定です。

1 市民意見募集の結果

(1) 募集期間

平成27年11月24日(火)～平成27年12月24日(木) 31日間

(2) 御意見数

意見総数：1,071件 意見者数：524人

<性別・年齢別（人数）>

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	53	93	64	45	32	29	18	6	340
女性	37	42	22	14	6	13	16	3	153
不明	1	1	0	0	1	1	0	27	31
計	91	136	86	59	39	43	34	36	524

<居住地別（人数）>

京都市内	京都市外	不明
348	115	61

2 御意見の概要と本市の考え方

いただいた御意見について、本市の後期実施計画(案)への反映の考え方を、次のとおり区分して取りまとめています。

(1) 計画策定に反映、又は骨子に記載済み、内容に賛同する等の御意見 596 件

- ① 御意見の内容・趣旨を、後期実施計画(案)に反映しているもの
- ② 御意見の内容・趣旨が後期実施計画(骨子)に含まれているもの、又は骨子の内容に賛同・期待・協力する等の御意見であり、いただいた御意見を踏まえて計画を推進するもの

(2) 参考にさせていただく御意見 475 件

- ③ 多様な観点からの御意見として今後の参考にさせていただくもの

御意見の内訳

分 類		(1)			(2)
		①	②	③	
計画策定の考え方や財政運営に関するもの	21	9	5	4	12
政策編に関するもの	896	527	71	456	369
低炭素・循環型まちづくり戦略	65	31	2	29	34
歩いて楽しいまち・京都戦略	299	180	16	164	119
歴史・文化都市創生戦略	49	31	11	20	18
個性と活力あふれるまちづくり戦略	48	22	3	19	26
旅の本質を追求する観光戦略	86	61	5	56	25
新産業創造戦略	64	37	12	25	27
未来の担い手育成戦略	29	22	2	20	7
子どもを共に育む戦略	97	61	8	53	36
真のワーク・ライフ・バランス戦略	27	16	6	10	11
地域コミュニティ活性化戦略	25	15	5	10	10
いのちと暮らしを守る戦略	107	51	1	50	56
改革編に関するもの	110	45	13	32	65
参加と協働による市政とまちづくりの推進	25	15	4	11	10
情報の公開・共有と行政評価の推進	16	11	0	11	5
持続可能な行財政の確立	60	17	7	10	43
一層信頼される市役所づくりに向けた組織の改革と人材の育成	9	2	2	0	7
その他	44	15	0	15	29
合 計	1,071	596	89	507	475

※ いただいた御意見等の詳細については、ホームページを御覧ください。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/templates/pubcomment/sogo/0000190649.html>

① 御意見の内容・趣旨を、後期実施計画（案）に反映しているもの（89件）

御意見の内容・趣旨	後期実施計画（案）への反映
【低炭素・循環型まちづくり戦略】	
○共汗指標について、TJに代えて一般家庭のエネルギー消費何軒分と表記するか、又は注釈を付すべき。	○「再生可能エネルギー導入量の目標 1,690TJ」が「市内の家庭の年間消費電力量に換算すると、約 12 万世帯分に相当」と注釈を追記
○COP21 での「パリ協定」の採択を踏まえ、これまでの京都市の取組を、主に海外の途上国に対して提供していくことを目指してほしい。	○京都議定書からパリ協定につながった地球温暖化対策を更に推進するため、本市の先進的な取組を国内外に発信（事業名に明記）
【歩いて楽しいまち・京都戦略】	
○自転車と歩行者がともに安全に通行できるような施策を進めてほしい。 ○自転車マナーの改善に対する取組をもっと積極的に行ってほしい。 ○自転車の活用を促すだけでなく、歩行者に対する配慮や自動車との関係で安全面も配慮すべき。 など12件	○「だれもが自転車と触れ合え、安全な自転車の乗り方を身に付ける常設サイクルセンター（講習施設）の設置」を事業追加 ○「自転車向け保険加入の義務化とルール・マナーの遵守に向けた京都サイクルパス制度（仮称）の創設」を重点プロジェクトに追加し、ルール・マナーの徹底など安全教育等を重点的に実施
○市営地下鉄の定期券をIC化してほしい。 ○トラフィカカードのように、ICカード等でも市バス間や地下鉄との乗り継ぎに優遇措置をすることで、利用者の増加が図れないか。 など4件	○ICカードによる定期・乗継割引サービス導入など市バス・地下鉄の利便性を更に向上（事業名に明記）
【歴史・文化都市創生戦略】	
○「京都」は日本のまちの原風景を残した数少ない都市である。伝統の知識と経験を共有・発信・交流する機会を多く持つと良い。	○和装、華道、庭園文化など京都に息づく和の文化の振興をより一層推進（事業名に明記）
○「荒廃した森林・竹林における再生の推進」について、「古都三山の荒廃した森林・竹林における景観保全・再生の推進」としてほしい。 ○「再生」では不十分。「再生による古都の景観保全」など、再生の目的地を明らかにし、追加してほしい。 など4件	○御意見を踏まえ、事業名を「荒廃した森林・竹林における再生の推進」から「森林・竹林の保全・再生による古都の景観向上」に修正
○無電柱化は本当に実施してほしい。景観だけでなく、歩行者や自転車の安全にもつながる。 など3件	○「先斗町通をはじめとした全国のモデルとなる京都方式の無電柱化などによる道路景観の向上」を重点プロジェクトに位置付け
○昔の街並みを大切にすることが必要。 ○魅力ある町並みの保全に向け、引き続き頑張ってもらいたい。 など3件	○魅力ある町並みを形成する京町家の保全・活用を一層推進するため、「京町家を次世代に引き継ぐための条例」の制定に取り組む。（事業名に明記）

御意見の内容・趣旨	後期実施計画（案）への反映
【個性と活力あふれるまちづくり戦略】	
○西陣織をもっといかしてほしい。	○「伝統産業、伝統文化・伝統芸能、寺社、花街の文化、商店街など、多彩な資源を有する西陣を中心とした地域の活性化」を事業追加し、西陣織をはじめ、多彩な資源を生かした地域活性化を推進
○四条通が地上と地下の両方で活気付き、京都の新たな観光スポットを創設するためにも、有効に使われていない四条通の地下道に、実験的に店舗を出店して、ビジネスチャンスの創設につなげてはどうか。 など2件	○「四条通の地下通路の活用による都心部の更なる賑わいづくりの推進」を事業追加
【旅の本質を追求する観光戦略】	
○職人技は製造過程といったプロセスにも現れる。観光客がプロセスにも接することができるよう、職人と連携し、特に外国人観光客相手の体験企画を検討すべき。 など5件	○「新たな観光資源の発掘と伝統産業製品の販路拡大を図る工房訪問事業の推進」を事業追加
【新産業創造戦略】	
○「京都府の不本意非正規雇用比率」の目標は記載すべき。目標値を明記することで、市民が意見しやすく、政策評価をしやすい。	○「京都府の不本意非正規雇用比率」の目標値を設定
○京都は中小企業が中心で、かつ誇れる技術が集積しているが、学生には魅力等が知られていない。中小企業の魅力を発信し、学生と中小企業の接点を積極的に持つべき。	○蓄積された誇れる技術を有するなど魅力ある中小企業と学生とのマッチングを積極的に支援（事業名や事業概要に明記）
○国内の市場規模が一番大きい東京に拠点を設け、プロモーションを更に強化し、伝統産業をはじめとした京都の魅力を発信すべき。 など4件	○「首都圏での発信拠点となる京都館の移転を契機とした、国内外の人々を魅了し、京都ファンを増やす産業・文化の魅力発信力の更なる強化」を事業追加し、京都館の移転整備に合わせ機能を充実
○ブラック企業やブラックバイト等に対する対応策を盛り込むべきではないか。	○「ひとを大切にする京都ならではの働き方を推進する「京都労働経済活力会議」など行政、労使団体による「ブラック企業・ブラックバイト」の根絶に向けた周知・啓発」を事業追加
○新しい取組を導入できない中小企業をどれだけ多く巻き込み、成長戦略の推進や産業の活性化などにつなげるかが大切である。	○「「中小企業振興会議（仮称）」の創設による、関係者の知恵と力を結集した一層の実効性ある振興策の推進」を事業追加し、関係者の英知を結集した実効性ある振興策を検討・実行

御意見の内容・趣旨	後期実施計画（案）への反映
○まち・お店・ひとの縁結びを強化するという人と人との関係を強くしていくプロジェクトは大いに賛成。学生も関わらせてもらいたい。	○御意見を踏まえ、事業名に「学生」を明確に位置づけ
○商店街支援がまだまだ足りない。頑張っている商店街にもっと支援すべき。	○「専門家等の派遣など商店街の課題に応じた支援策の実施」を事業追加し、商店街支援を更に充実
○観光地の分散を図るためにも、歴史ある昔ながらの里山・田園風景が色濃く残る、大原や北嵯峨の更なる魅力を掘り起こし、周遊型・滞在型の観光戦略を推進してほしい。例えば、京野菜の収穫を体験し、温泉に浸かって京野菜を食し、宿泊できる観光プランなど。	○「農林業体験を活用した観光ビジネスの展開」を事業追加
○林業の現状を調査のうえ、待遇改善など対策を検討すべきではないか。	○「集中的な森林整備や林業振興をめざすための関係機関とも連携した新たな仕組みづくりの検討」を事業追加
【未来の担い手育成戦略】	
○幼少期から政治に興味を持つよう、小学校や中学校において、模擬選挙等を導入してはどうか。 など2件	○「学校での学びを地域・社会の課題解決につなげ、子どもの社会参画の力や政治的教養を育む教育の推進」を事業追加
【子どもを共に育む戦略】	
○子どもの教育・保育を充実してほしい。 ○子育て支援施策を増やすべき。 ○保育士を増やすことが必要である。 など8件	○「子育て支援コンシェルジュの創設」、「子ども医療費負担軽減の更なる拡充」、「市独自の保育士配置の充実」、「不妊・不育症対策の充実」など、子育て支援施策を一層充実（事業名や事業概要に明記）
【真のワーク・ライフ・バランス戦略】	
○企業などに育児休暇を取得しやすい環境整備をするよう啓発すべき。 ○ワーク・ライフ・バランスのためにも、家事の評価を高める必要がある。 など5件	○企業・事業者向けに男性の育児休業取得奨励金制度を創設。重点プロジェクト「働き方改革に向けた環境整備の推進」の取組に位置づけ ○家事等に積極的な男性の顕彰を新設。重点プロジェクト「男性が主体的に家事・子育て・介護等家庭生活に関わることができる環境・気運づくりの推進」の取組に位置付け
○新しい図書館を建設するのは困難だと思うが、定期的に古くなった施設の修繕を行っていただければ、より一層使いやすくなると思う。	○図書館の新設は難しいが、児童コーナーの改修やトイレ整備などハード面の取組を着実に進めるとともに、図書の実用や駅等での図書の返却システムを構築するなど、ソフト面で利便性を一層向上（事業名に明記）

御意見の内容・趣旨	後期実施計画（案）への反映
【地域コミュニティ活性化戦略】	
○マンション住民と地域住民との交流を促進してほしい。	○「住宅関連事業者等と連携した自治会・町内会への加入促進」を重点プロジェクトに追加
○下宿学生と地域住民を結びつける政策があると相互理解が進み、苦情が減るのではないかと。また、京都のイメージアップにつながり、他県出身の学生がリピーターとなって再訪するのではないかと。 ○大学や高校と連携し、若者がまちづくりに参加できる仕組みを構築すべき。 など3件	○「若者の地域活動への参加促進」を重点プロジェクトに追加し、中高生等の若者の地域活動等への参加や地域との世代間交流を促進
○集合住宅の空き家は、住民の活動の場として活用してはどうか。	○「集会所新築等補助金制度の拡充」を事業追加
【いのちと暮らしを守る戦略】	
○肝炎対策だけでなく、その他の疾病対策も進める必要がある。	○「がん検診の受診率向上など市民の健康づくりの推進」を事業追加
【改革編その他】	
○意見を聞く機会を設けて積極的に市民の声を聞くようにしてほしい。役所の方から外に出て意見を集めるべき。	○市民と市職員が市政やまちづくりについて対話する機会を充実する旨を明記
○各種審議会・協議会は、勤め人や学生の参加できない平日昼間にしか開催されておらず、現場の声が反映されないため、土日祝日に開催すべき。	○様々な市政への参加機会において、一人ひとりの状況の違いを踏まえ、誰もが参加しやすい工夫を行う旨を明記
○マイナンバーの導入による市民サービスの向上で、コンビニで住民票がもらえると聞いたことがあるが、京都市もそうなるのか。	○各種証明書のコンビニ交付の早期実施やワンストップ窓口をはじめとした窓口業務の改革の検討など、窓口サービスの向上と業務の効率化を推進する旨を明記
○すべての施策で京都府との連携をより一層深めていただきたい。	○府市の連携を更に強化するため、「市政のあらゆる分野において府市協調を進化させ、二重行政を打破し、成長戦略を府市協働により推進」する旨を明記
○中小企業の活性化を本気で考えているなら、公契約条例の活用を明確にするべき。また、賃金条項を盛り込むことを検討することも明確にするべき。 など3件	○中小企業等の持続的な発展の支援の取組例として、「公契約基本条例に基づく中小企業の受注機会の増大や地域コミュニティの活性化など社会的課題の解決に資する取組等の推進」を追記
○観光客への課税など、京都市独自の税制度の導入も検討すればよいのではないかと。 など2件	○入浴客への新たな負担のあり方や超過課税等といった課税自主権の活用を検討する旨を明記

御意見の内容・趣旨	後期実施計画（案）への反映
○ごみ収集の委託化を進めるべきである。クリーンセンターをはじめ、施設運営は委託化が可能であると思う。 など2件	○「民間等への積極的な委託化の推進」の取組例として、ごみ収集業務に加え、「クリーンセンターにおける焼却プラント運転監視業務の段階的な民間委託化」を追記
○市職員は残業が多く、ワーク・ライフ・バランスが実現できているのか疑問。まずは市職員が働きやすい制度を整えることが必要。	○「庁内モデル職場へのコンサルティング実施による働き方の見直し」、「管理職員等が「イクボス宣言」を行うなど、短時間で成果を上げる「生産性の高い働き方」への転換を図る取組」を推進する旨を明記
○機構改革や組織の工夫による人員削減は限界であり、再教育をしっかりとやり、それでもだめなら退職させるべき。	○人事評価結果に基づく「職務改善プログラム」を導入し、人事評価の結果が一定点数以下であった職員に対して、体系的な研修プログラムを実施し、改善が見られない場合は、分限処分の対象とする旨を追記
○後期実施計画期間中に特別の財源対策に依存しない財政を確立することを明確に示してほしい。 ○これ以上、市の借金をすべきでない。未来が心配。 など5件	○計画期間中の目指すべき姿として、特別の財源対策に依存しない財政の確立を明記 ○実質市債残高の縮減目標も明記

② 御意見の内容・趣旨が後期実施計画（骨子）に含まれているもの、又は骨子の内容に賛同・期待・協力する等の御意見であり、いただいた御意見を踏まえて計画を推進するもの（507件）

<ul style="list-style-type: none"> ○ リデュース（ごみの発生抑制）とリユース（資源の再使用）について、本当に浸透しているのか疑問であるため、継続してPRすべき。 ○ 四条通の歩道拡大やパーク・アンド・ライドを進め、公共交通の利用を推進してほしい。 ○ 市バスの乗り場や路線を分かりやすくしてほしい。 ○ 文化庁の誘致に賛成する。文化首都として発展してほしい。 ○ 北部山間地域の振興により重点を置いて実施してほしい。 ○ 外国から来られる人へのサポート（通訳、案内標識、Wi-Fi など）を充実すべき。 ○ 学校での職場体験だけでなく、企業見学や説明会をより大きな取組としてやってほしい。 ○ 大学と企業・地域が連携してまちづくりを行い、学生が京都に拠点を置く中小企業やNPOに関心を持つ。さらに学生の柔軟な知恵を活かすため、関心ある学生が団体を形成し、長期的に地域連携や企業との連携に関わっていくことが望ましい。 ○ 保育園などの児童施設を増やしていくことが大切だと思う。 ○ 病児・病後児保育の取組を一層強力的に進めてほしい。 ○ 放課後・学カステップアップ事業等は役に立っている。新たな人との関係を築くこともできると思うので、今後も推進していくべき。

- 全体を通じて、真のワーク・ライフ・バランスの重要性を訴える必要がある。
- コミュニティを重視した空き家対策の事例をどんどん増やして、アピールしてほしい。
- 自主防災会などへの女性の参画を促進してほしい。
- 避難所の場所は知っているが、避難訓練がされていないので実施すべき。
- 人口減少及び少子高齢化社会を考えると、京都市は周りの都市と連携し、時には周りの都市を引っ張って進んで行くような視点も必要ではないか。
- 京都市の取組を伝える、理解してもらうことが大切だ。メディアが収益面以外でも協力するとよい。
- 用地の有効活用は大賛成。民間が活用した方がよりクリエイティブな活用が可能。

など

③ 多様な観点からの御意見として今後の参考にさせていただくもの（475件）

- 区役所前の乾電池などのリサイクルコーナーについて、勤め人も使えるように土日祝も開けてはどうか。
- 地下鉄の路線を広げれば、更に便利になる。
- 市内全ての駐輪場を無料化してほしい。
- 時代祭や葵祭の日を祝日にしてほしい。
- 岡崎地域は落ち着きのある雰囲気がある。夜の賑わいの創出など、更なる賑わいの演出はやめるべき。
- 人口減少が進んでも、市の経営を成り立たせるため、市街化区域の縮小を行うべき。
- 最低賃金を上げてほしい。
- 留学生誘致の具体的な取組として、空き家などを利用した公営の格安シェアハウスを設置することを提案する。
- 希望する保育所に通えるよう、保育所の増設が必要である。
- 子どもの医療費をタダにしてほしい。
- 「婚活」を行っても価値観の多様化が進む現代で人口減少は避けられないと思う。
- 健康長寿の取組について、健康づくりに対してポイントを付与し、地域通貨としてお店で使えるようにしてはどうか。
- 若年世代に負担を押し付けるような高齢者施策は望ましくない。
- 職員を減らすことで、1人あたりの負担が増加、過酷な状況になっていたり、市民サービスの低下を招いている。

など